

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス スマイルキッズ鍋島		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 10日		～ 令和 7年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19 (回答者数)	13
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 10日		～ 令和 7年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・スケジュールを使用して、見通しをもって活動をしていく。将来的に、自分で見通しをもって計画を立てて行動することができるようになる。	・個別に毎日のスケジュールを作成し、活動を行っている。 ・予定の変更等を設定することで、予定が変わった時にも対応できたり、気持ちの切り替えができるように支援を行っている。	・スケジュールエリアを設定して、絵カードでのスケジュールを使用しているが、自立してできる利用者に対しては、持ち運び式のスケジュールを使用し、予定の追加や変更などを自分で書き込みながら、スケジュールを確認して活動できるようにしている。
2	・公共交通機関を利用したお出かけや、お買い物体験を行うことで、将来的に、自立して移動や生活ができるようになる。	・自立した日常生活を送ることができるように、バスや電車などの公共交通機関を利用したお出かけのイベントを設定している。切符の買い方や、路線図の見方などを教えて、実際に体験ができるように支援を行っている。	・利用者や保護者の意見を取り入れた体験活動を行っている。お出かけに関して、行きたい場所や移動方法など、利用者も一緒に話し合う機会を設ける。
3	・手順書を使用した調理体験を行い、見通しをもって調理ができるようにしている。また、いろいろな食材に触れたり、さまざまな経験を通じて、食に関する知識を身につけていく。	・手順書を作成して、調理体験を行っている。準備から片付けまでを役割をもって活動している。自分の役割を見通しをもって行えるように配慮している。苦手な物でも、自分で調理をすることで関心をもち、挑戦していくことができるように支援を行っている。	・利用者や保護者の意見を取り入れた調理体験を設定していく。日常生活で食べられたものや、お菓子などさまざまな食べ物を作って、作り方を学んだり、興味の幅を広げていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・室内での十分な運動スペースが確保できない。	・賃貸物件である為、建物自体には手を入れることができない。 ・トランポリンやバランスボード等の簡単な運動のみの活動になってしまう。	・近くの公園にお出かけをしたり、体育館を借りて体を動かす活動を取り入れている。屋外の活動では天気によって左右されたり、体育館は予約が必要なので、企画をする際には上記の点に注意する。
2	・発達段階によって活動内容を分けることが難しい。	・高校生から小学校の低学年の方が利用されており、集団活動では、みんなが参加できるように内容を調節しているが、参加できたり、できなかったりする。	・発達段階によって、集団活動を分けて提供をしていく。 ・それぞれが参加できる形での小集団の活動を設定していく。
3			